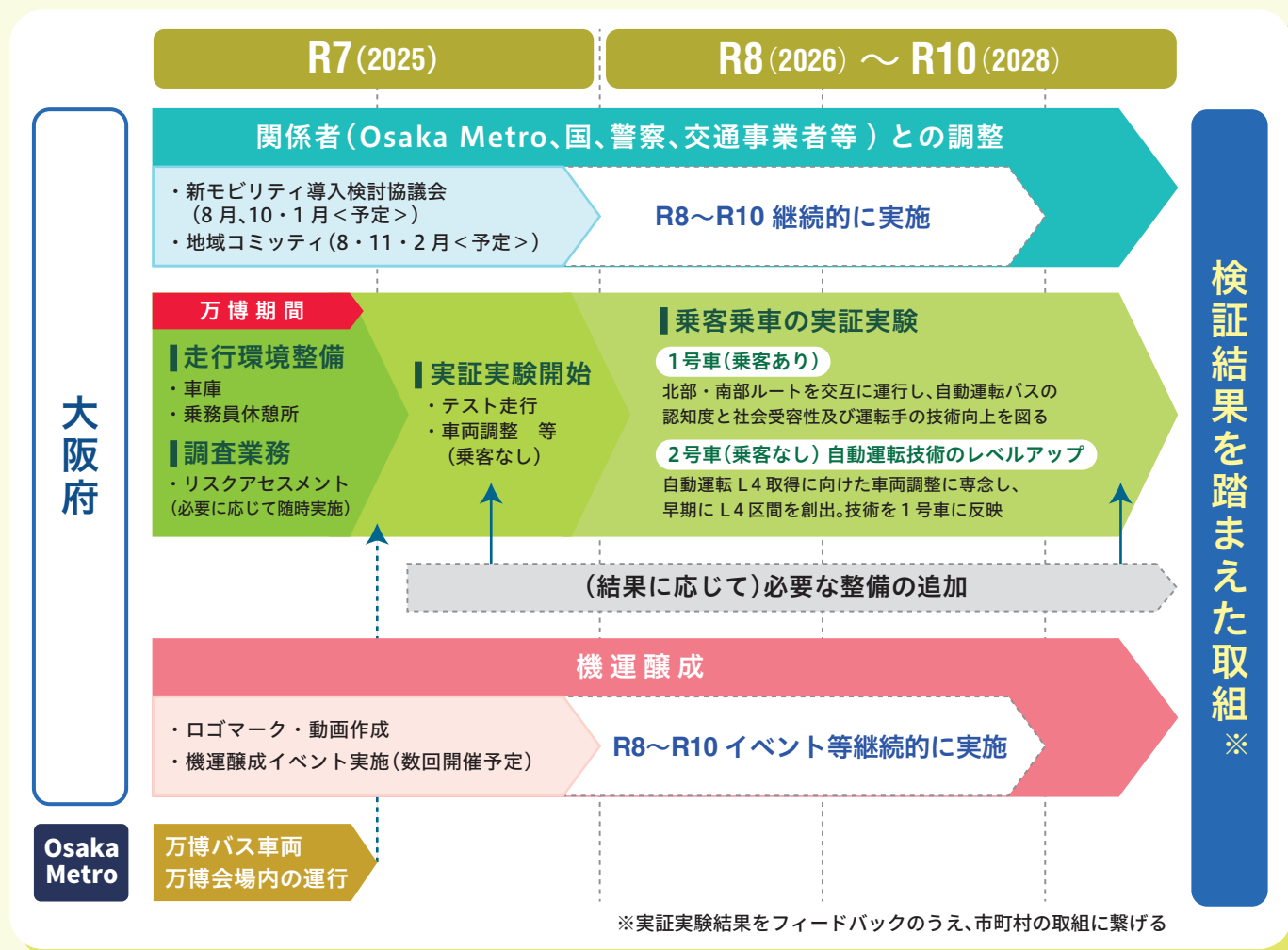


▶ 全体スケジュール



▶ 機運醸成の取組

本事業では、自動運転バスの取組や安全性を地域の皆様に伝えるため、南河内地域でイベントを開催しています。自動運転講座や自動運転乗車体験、自動運転クイズを企画し、幅広い年代の方に自動運転についてご理解をいただいています。R7年度も、夏や秋に皆様に楽しんでいただけるイベントを予定していますので、是非ご参加ください。

これまでのイベント	イベント名	新モビ FESTA in 南河内	新モビ FESTA in 南河内 (自動運転バス走行披露会)	新モビ FESTA (自動運転バス体験試乗会)
	日付	R6.7.27	R6.9.16	R7.3.29
	来場者数	約770名	約1,150名	約2,600名

イベントの様子



©2014 大阪府もずやん



MINAMIKAWACHI NEW-MOBILITY PROJECT

南河内 新モビリティ プロジェクト

万博会場を走った
自動運転バスが
南河内を走行します！



問い合わせ

大阪府 都市整備部 事業調整室 新交通施策推進課 TEL: 06-4397-4143
富田林土木事務所 建設課 TEL: 0721-25-1131 協力: 大阪市高速電気軌道株式会社



南河内 新モビリティプロジェクト



©2014 大阪府もずやん

▶ 事業目的

大阪府では、持続可能な地域公共交通を確保することを目的に、万博会場内において運行される自動運転バスを万博のレガシーとして、南河内地域で活用する取組を進めています。

本事業は、南河内地域での取組を先導的なモデルとし、自動運転バスの実証結果をフィードバックのうえ、持続可能な地域公共交通の確保に向けた市町村の取組につなげることを目指しています。

令和８年度春から３年間を目途に自動運転バスの乗客乗車を開始し、将来的に自動運転レベル４*運行に向けた技術向上に取り組んでいきます。

▶ 推進体制

本事業は、万博において自動運転バスを運行した大阪市高速電気軌道株式会社と共に、令和５年に「新モビリティ導入検討協議会」を組織し、自動運転バス等の新しいモビリティの活用に向けた協議・調整を行っています。

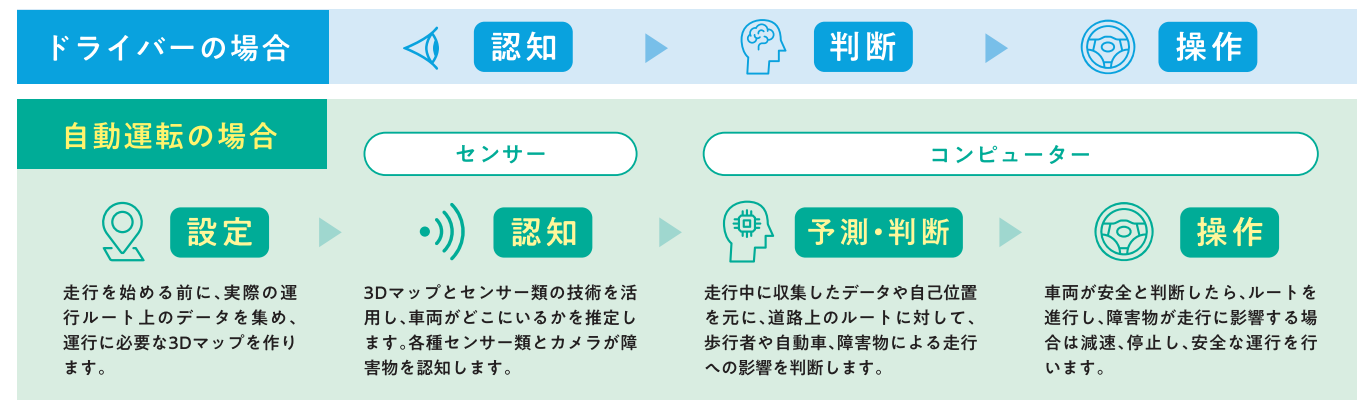
また、令和６年には国等の関係団体と「大阪府（南河内地域）レベル４モビリティ・地域コミッティ」を設置し、実証実験の実施に向け、新たに府及び関係行政機関等が一体となり、許可等の手続きを迅速に進められるよう検討しています。

ほかにも、大阪芸術大学に本事業のロゴを作成してもらう等、産官学等の連携を実施しています。

▶ 自動運転バスとは

自動運転とは、人ではなくシステムを活用して運転する技術で、将来的に運転手不足の解消に繋がります。自動運転の仕組みは以下のとおりです。

自動運転の仕組み



自動運転バスは、「**センサーやカメラによる周囲把握**」、「**衛星からの信号受信**」という２つの技術で精密に自己位置を特定しています。

特定した自己位置と事前に作成された走行ルートを照合することで、自動運転走行を実現し、さらに、道路に配置されたインフラ設備を活用することで、より**安全で快適な走行が可能**です。

※レベル４・・・特定条件下における完全自動運転のこと。レベル１～レベル５まである。Ｌ４とも言う

▶ 走行ルート

- ・（仮称）北部ルート
ルート：上ノ太子駅～太子町役場経由～近つ飛鳥博物館
運行距離：約 7.9km
- ・（仮称）南部ルート
ルート：富田林駅～河南町役場経由～千早赤阪村役場
運行距離：約 8.3km

▶ 運行時期

- ・令和７年１１月～実証実験（乗客なし）
- ・令和８年度春から乗客乗車開始



▶ 自動運転バスの技術

マップマッチング

事前に作成した走行ルートの３次元地図の情報と、走行中に LiDAR で把握した情報を重ね合わせることで自己位置を特定します。

RTK-GNSS

GNSS（全球測位衛星システム）は、電波を使い複数の測位衛星とアンテナの距離を割り出し、位置を特定する技術です。

LiDAR

照射するレーザー光が物体に当たって跳ね返ってくるまでの時間を計測し、物体までの距離や方向を測定することで、正確な障害物回避を可能にしています。

▶ 自動運転バス構成・仕様

車両名	F8 series4-Mini Bus(EV Motors Japan)
乗車定員	11 名(着席のみ)
寸法(mm)	全長 6,990、全幅 2,105、全高 3,100
センシング	LiDAR 4 箇所 8 個 カメラ 9 箇所 15 個

※ラッピングデザインについては、変更となる可能性があります

